

突然の心停止を起こした方の命を救うためには、まずは**119番通報**が大切ですが、救急車が到着するまでに、心肺蘇生法とAEDを使用することで、救命率を上げることができます。

AEDとは？

突然の心停止から命を救うため、けいれんを起こした心臓に電気ショックを与える装置です。

心肺蘇生の必要性

心臓が停止すると、血液の流れが止まり、脳・心臓・体の細胞に生命の源である酸素や栄養が行かず、数分で死に至ります。心肺蘇生を行う事で、血液を循環させることができ、救命率を向上させAEDも効果的に働きます。

AEDをくみこんだ救命処置の流れ (日本版ガイドライン 2010 対応)

AEDの使い方

- 1 反応の確認 応援を呼ぶ**

倒れている人を発見したら…
大丈夫ですか？
肩をたたく、声を掛けて反応があるかを確認。

呼びかけに反応しない！
息をしていない！
119番 お願いします！
AEDを持ってきてください！
近くにお医者さんはいませんか？
大きな声で助けを呼ぶ。
AEDを持ってきてもらう。
- 2 心肺蘇生法**

呼吸が無ければ
AED到着まで
心肺蘇生法を実施

少なくとも100回/分のリズム
胸の真ん中を少なくとも
5cm沈むよう胸骨圧迫

※人工呼吸が可能ななら
30:2(胸骨圧迫:
人工呼吸)の組み合わせ
で救命処置を
継続します。
- 3 AED到着**

①電源を入れます。
音声ガイダンスに従って操作します。
パッドを装着して下さい

②パッドを装着し、解析を行います。

③誰も傷病者に触れていないことを確認。
通電ボタンを押す。

Q & A

- Q AEDはどんなときに使用しますか？
A 声をかけても全く反応がなく、呼吸をしていない人に使用してください。
- Q 側溝などの金属面では使用できますか？
A 使用可能ですが、パッドを直接金属面に接触させないでください。
- Q 健康な人へ使用したらどうなりますか？
A AEDが不適応と判断し、作動しません。



迅速な対応が命を救います。皆様のご理解とご協力をお願いします。

お問合せ先 健康推進課 365-1399 生涯学習課 366-7140